

呼吸器外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	組織標本を用いた肺癌の新規予後因子の探索
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇 学
担当科等	病理診断科
研究責任者	(職名)助教 (氏名)高原大志
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	肺がんの予後を推測するための因子を探索するために、10年間、愛知医科大学病院で診断された手術標本を顕微鏡で見直して、さまざまな統計解析を行います。
対象となる患者さん	2007年1月から2017年12月の間に初発の肺原発腺癌と診断され、肺の外科的手術を受けた患者さん
研究の方法	診断時に作成した標本を再評価して、新しく発見された因子が患者さんの予後と関連があるかどうか評価します。また、診断を再検討するために必要に応じて免疫染色を行います。
研究期間	研究実施承認日 ~ 2025年3月31日
研究に用いる試料・情報	試料：肺がん手術時に作成したガラス標本およびホルマリン固定ブロック 情報：再発の有無、再発までの期間、手術後の生存期間など
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2024年4月1日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし試料・情報が個人を識別できる場合のみ対応可能です。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 病理診断科 担当者：助教 高原大志 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 37415)